

# 東洋炭素 2007年5月期 中間決算説明会

C × TOYO TANSO = 

TOYO  
 東洋炭素株式会社

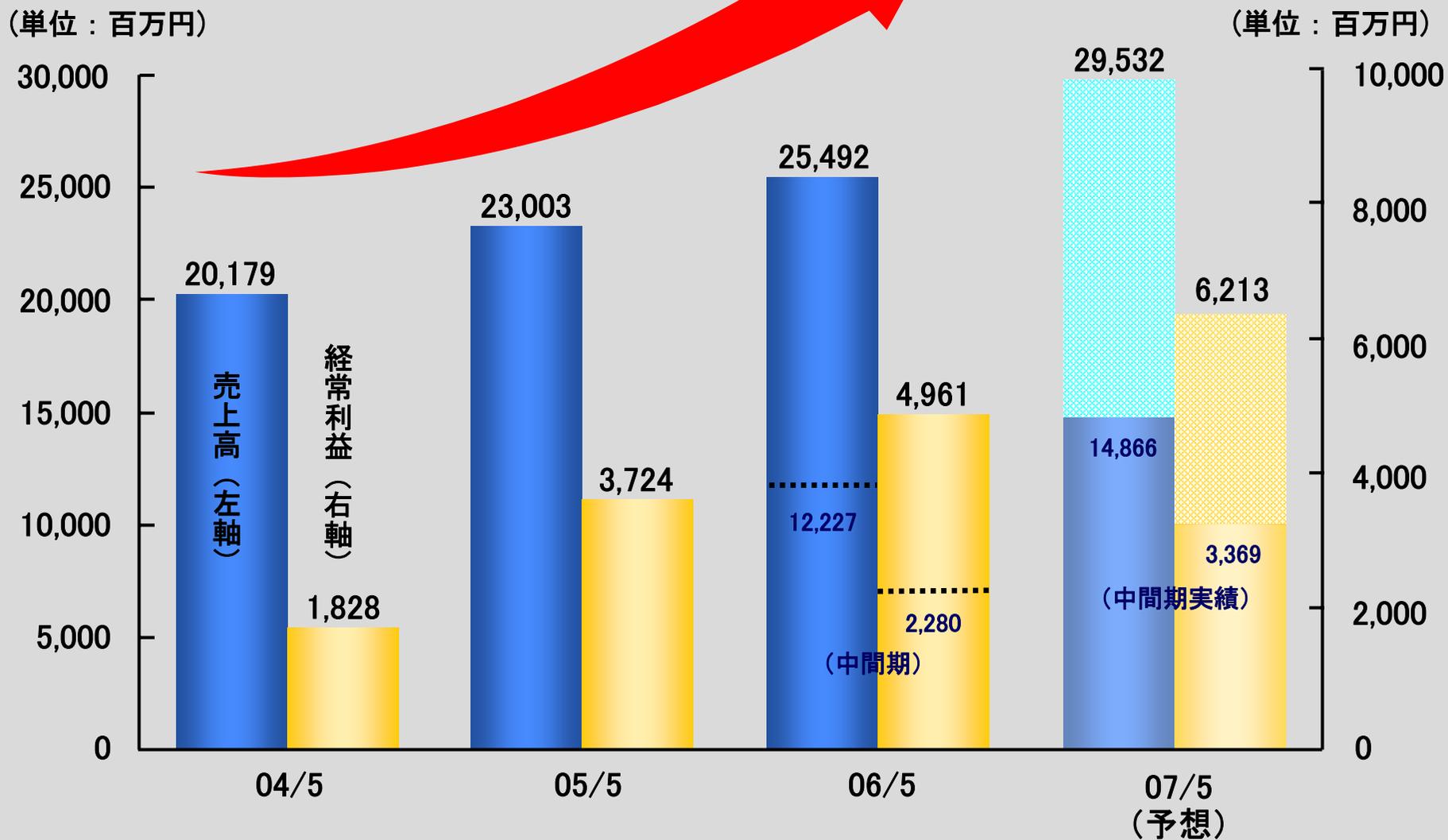
2007年1月22日

1. 2007年5月期中間決算の概要（連結）	P.02
1-1. 業績推移（連結）	P.03
1-2. 2007年5月期中間期業績（連結）	P.04
1-3. 製商品・分野別概況（連結）	P.05
1-4. 2007年5月期中間貸借対照表（連結）	P.08
1-5. 2007年5月期中間キャッシュ・フロー計算書（連結）	P.09
2. 2007年5月期業績予想（連結）	P.10
2-1. 2007年5月期業績予想（連結）	P.11
2-2. 将来への投資（設備投資・減価償却費・研究開発費）	P.12
2-3. 主要経営指標の推移（連結）	P.13
3. トピックス	P.14
3-1. 生産能力の増強	P.15
3-2. 韓国現地法人設立／セミコンジャパン出展	P.16
3-3. TaC(炭化タンタル)被覆黒鉛材を開発	P.17

# ∞ 2007年5月期中間決算の概要(連結)

---

# 1-1. 業績推移 (連結)



# 1-2. 2007年5月期中間期業績(連結)

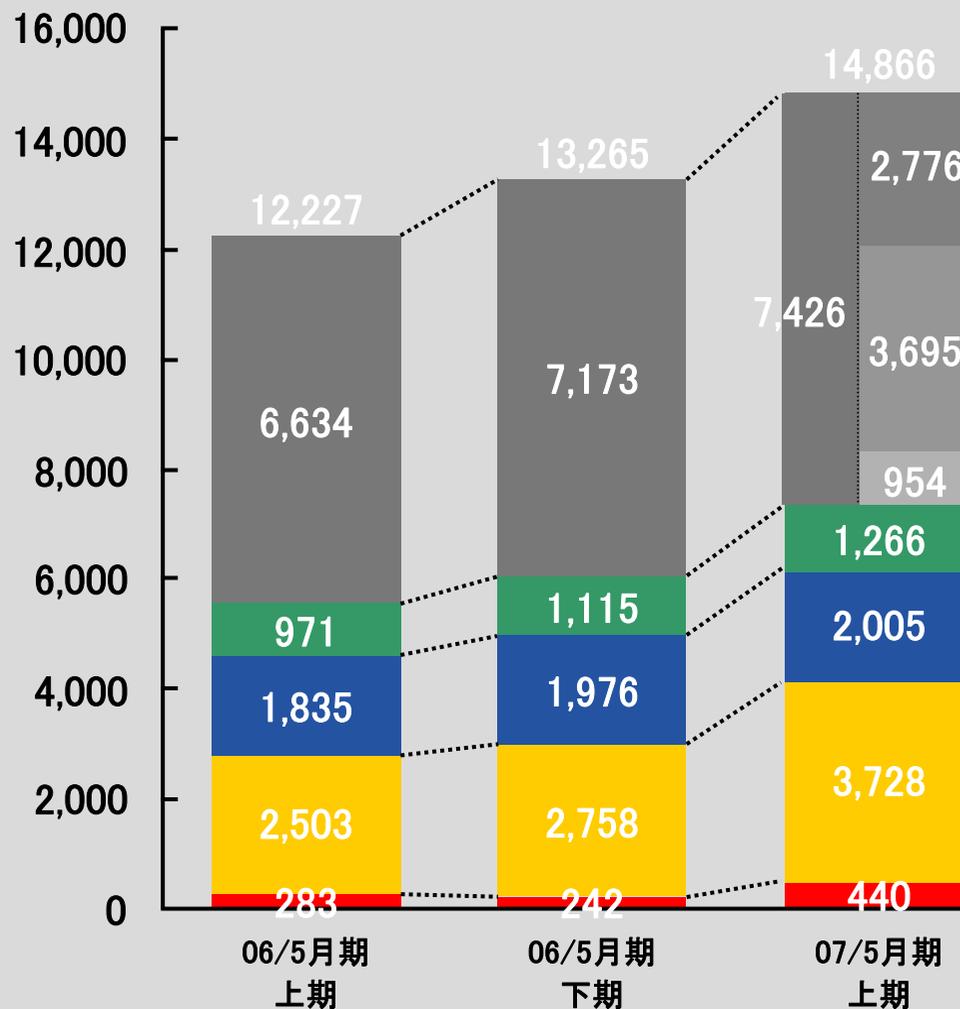
(単位:百万円)

	06/5 中間期	07/5 中間期	増減率	ポイント
売上高	12,227	14,866	21.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エレクトロニクス分野をはじめ各用途における旺盛な需要を取り込むとともに、高付加価値品へのシフトを含む販売価格アップならびに新規製品の販売実現等により、前年同期比21.6%の増収。</li> </ul>
営業利益 (売上高営業利益率)	2,081 (17.0%)	3,286 (22.2%)	57.9%	
経常利益	2,280	3,369	47.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記増収に伴う限界利益増に加え、生産性改善によるコストダウンおよび製品毎の収益極大化努力により、減価償却費増・原燃料価格アップ等をこなし前年同期比57.9%の増益を達成。</li> </ul>
税引前利益	2,273	3,755	65.2%	
中間純利益	1,230	2,014	63.8%	
1株当たり 中間純利益	111円56銭	151円17銭		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確定拠出年金への移行益405百万円を計上。</li> </ul>

# 1-3. 製商品・分野別概況(連結)

## ① 売上高推移

(単位:百万円)



### 【特殊黒鉛製品・エレクトロニクス分野】

製品例: 単結晶シリコン製造用 … るつぼ、ヒーター  
 化合物半導体製造用 … MOCVD装置用サセプター、LPE装置用ポート  
 太陽電池製造用 … るつぼ、ヒーター

### 【特殊黒鉛製品・一般産業分野】

製品例: 連続鋳造用ダイス、放電加工用電極、各種工業炉用ヒーター

### 【特殊黒鉛製品・その他】

製品例: イオン注入装置用電極、ガラス封着用治具、高温ガス炉用炉心材、CTスキャン用部品

### 【一般カーボン製品・機械用カーボン分野】

製品例: 一般産業機械用 … ポンプ、コンプレッサー用軸受、シール材  
 輸送機械用 … パンタグラフ用すり板、自動車部品

### 【一般カーボン製品・電気用カーボン分野】

製品例: 小型モーター用 … 掃除機用モーターブラシ、電動工具用モーターブラシ  
 大型モーター用 … 大型モーターブラシ、風力発電機用モーターブラシ

### 【複合材その他製品】

製品例: 半導体製造用サセプター、MOCVD装置用サセプター、C/Cコンジット製品、黒鉛シート、オンサイトフッ素発生装置

### 【商品】

## 特殊黒鉛製品

## 【エレクトロニクス分野】

- 単結晶シリコン製造用途は、300mmウエハー製造ライン増設を受けて引き続き需要旺盛。デジタル家電等のアプリケーションの広がりを背景とした半導体需要の拡大と300mmウエハーの増勢基調は変わらず、今後ともタイトに推移する見込み。
- 太陽電池製造用途は、世界的な環境意識の高まりを背景に需要が急拡大。特に世界市場の半分以上を占める国内大手メーカーの増産計画を受け需要は更に拡大、今後年率3割前後の市場成長が見込まれる。



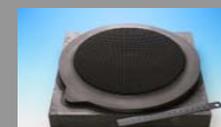
るつぼ



ヒーター

## 【一般産業分野】

- 好調な自動車需要を中心に金型製造用の放電加工電極が国内外で伸長。引き続き超微粒子構造の新グレードを武器に積極拡販。
- 連続製造用をはじめとする冶金関連需要、ならびにFPDを主とする液晶関連需要が順調に拡大。工業炉関連需要含めて、今後とも堅調な伸びを期待。



放電加工用電極



連続製造用ダイス

## 【その他】

- 半導体用のイオン注入装置向けが牽引し、医療用や封着治具も拡大。中期的には、原子力用をはじめとして先端領域における等方性黒鉛の使用領域は更に拡大予定。



ガラス封着用治具

### 一般カーボン製品

#### 【機械用カーボン分野】

- 堅調な設備投資を背景に、軸受け・シール材等の一般産業機械用途が堅調に推移。中でも省エネ・環境対応としてエコ対応給湯器関連需要が急増。ただし全体としては事業構造的に緩やかな成長に留まると予測。
- パンタグラフ用すり板は、既存顧客の更新需要ならびに私鉄・新交通への参入などにより順調に拡大。今後、私鉄向けに更に注力。中期的には海外に照準。



シールリング



パンタグラフ用すり板

#### 【電気用カーボン分野】

- 主力の家電モーター用小型カーボンブラシにおける顧客企業の中国生産シフトの流れは継続するも、中国現地法人の拡充による中国国内需要の積極取り込みと、電動工具・洗濯機向けの拡販などによりカバー。
- 引き続き日本・中国・欧州の各拠点の拡充・整備を推進し、グローバル展開を加速。



小型ブラシ

### 複合材その他製品

- SiCコーティング黒鉛製品は、LED関連をはじめとするエレクトロニクス関連市場の成長を背景に、化合物半導体向けを中心に大きく伸長。引き続き継続成長へ。
- C/Cコンポジット製品は、主力の大型ルツボを中心に順調に拡大。太陽電池製造用への展開も推進、今後の更なる成長に向けて用途開発に注力する。高純度黒鉛シートも、半導体・液晶関連市場の伸長により、引き続き需要拡大中。
- オンサイトフッ素発生装置事業において、一般産業分野向けにスポット案件の納入実現。半導体分野向けも含め、今後の本格的な事業展開に向け注力中。



SiCコーティング  
黒鉛製品



C/Cコンポジット  
製品



黒鉛シート



オンサイトフッ素  
発生装置

# 1-4. 2007年5月期中間貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	05/11月末	06/5月末	06/11月末	ポイント
<b>資産合計</b>	34,877	45,112	48,165	<ul style="list-style-type: none"> <li>等方性黒鉛の能力増強、高純度設備の増強、C/Cコンポジット設備の移設・増強などにより06/5月末対比2,495百万円増。</li> </ul>
受取手形及び売掛金	7,558	8,283	9,009	
たな卸資産	5,718	6,061	6,207	
有形固定資産	14,837	15,804	18,299	
<b>負債・純資産合計</b>	34,877	45,112	48,165	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業活動によるキャッシュフローを背景に有利子負債を順次削減。</li> </ul>
有利子負債	7,285	5,110	4,228	
資本金	1,090	5,000	5,000	
純資産	19,497	31,177	33,411	
自己資本比率	55.9%	68.8%	68.4%	

# 1-5. 2007年5月期中間キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	06/5 中間期	07/5 中間期	ポイント
現金及び現金同等物の 中間期末残高	2,346	4,143	
現金及び現金同等物の 増減額	314	▲723	
現金及び現金同等物の 期首残高	2,031	4,867	
営業活動によるCF	1,110	2,530	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確定拠出年金への移行益405百万円や売上拡大に伴う債権増あるも、利益増を背景に大幅増。</li> </ul>
投資活動によるCF	▲1,540	▲2,192	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有形固定資産の取得に加えて、抵当証券を取得(500百万円)。</li> </ul>
財務活動によるCF	441	▲1,078	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 借入金の返済が主因。</li> </ul>

# ∞ 2007年5月期業績予想(連結)

---

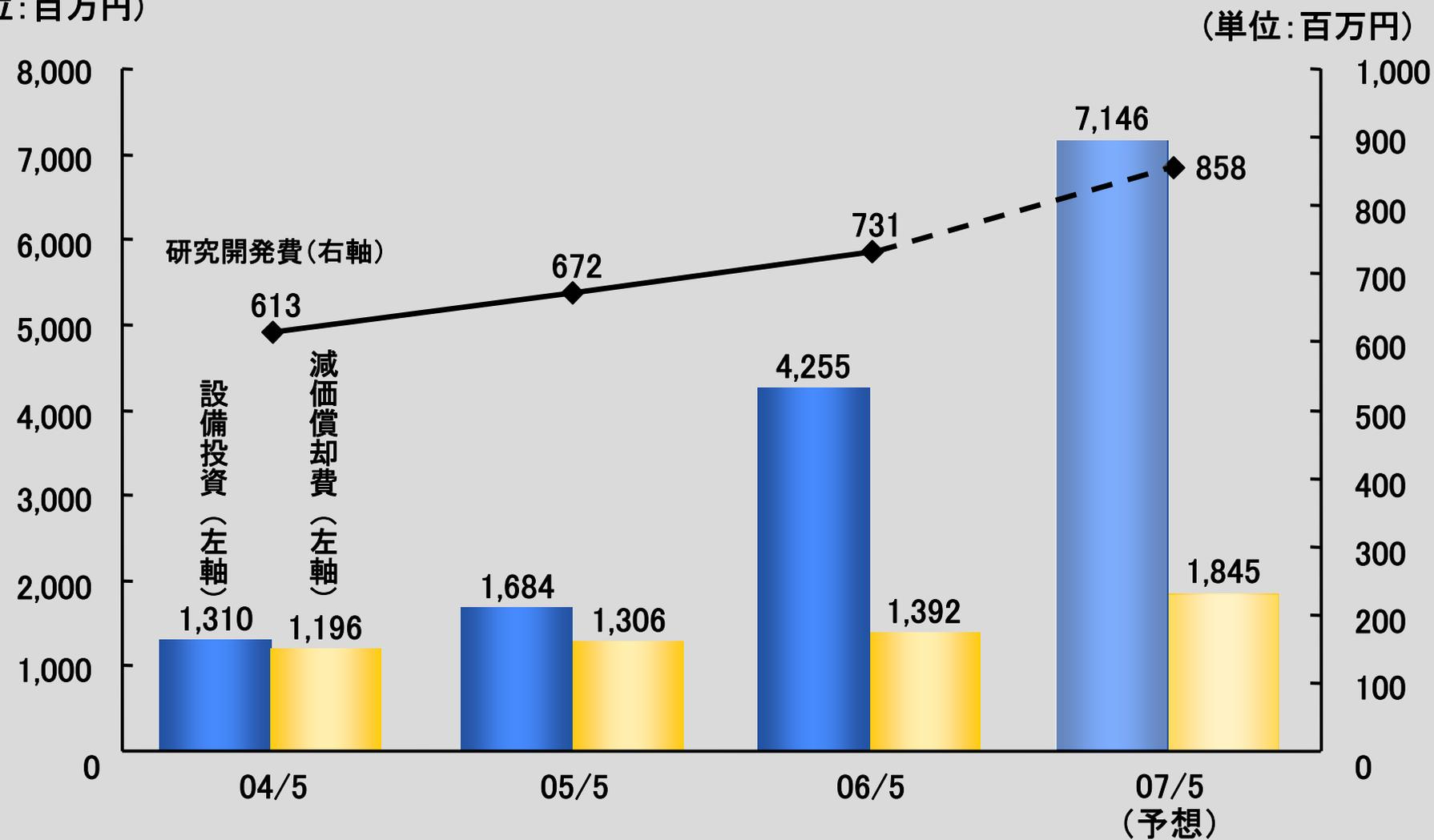
## 2-1. 2007年5月期業績予想(連結)

(単位:百万円)

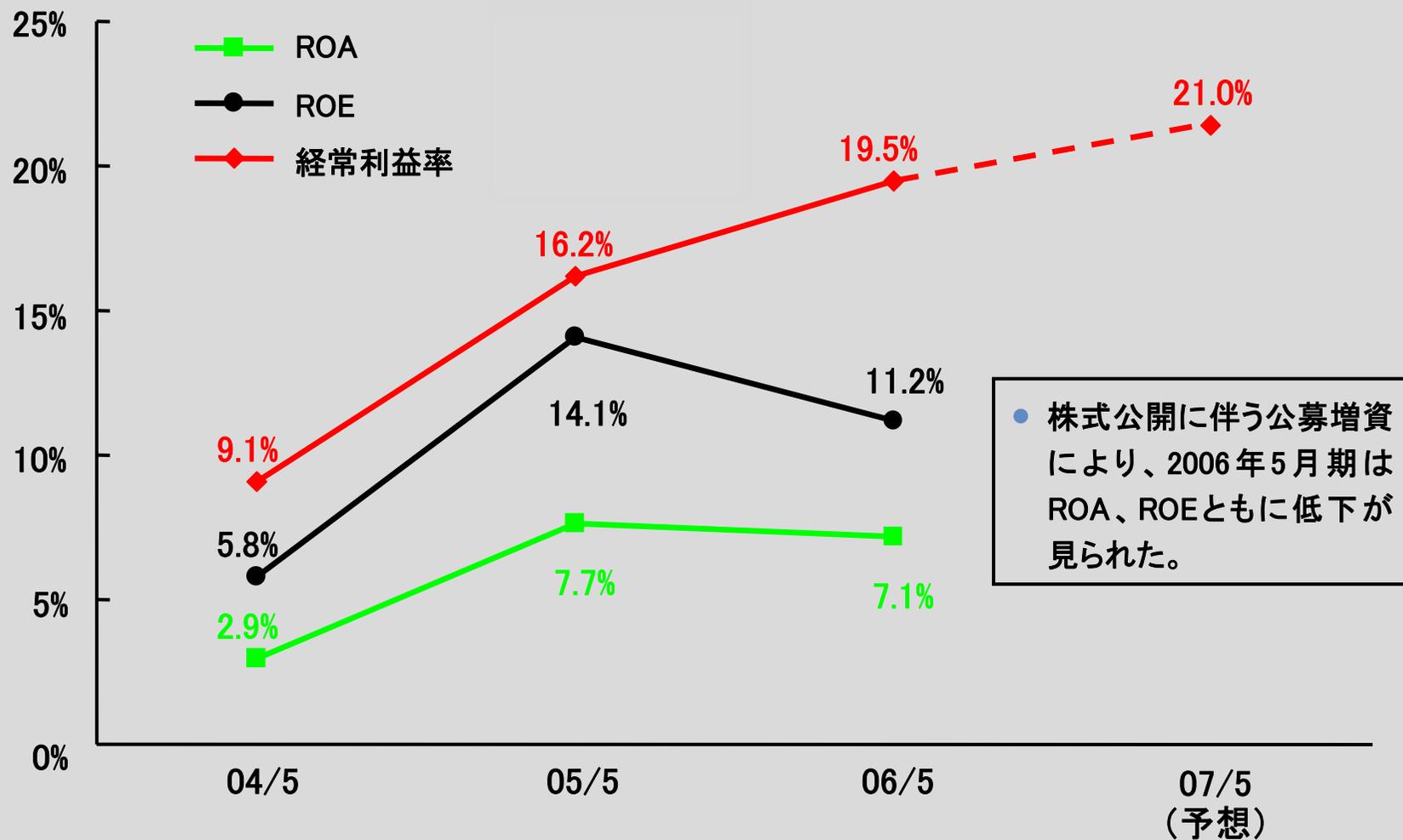
	06/5月期	07/5月期 予想	増減率	ポイント
<b>売上高</b>	25,492	29,532	15.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き旺盛な需要の下、下期より順次寄与が見込まれる等方性黒鉛の生産能力増強に伴う事業拡大と、更なる用途開発・高付加価値化(値上げ含む)を推進し、継続的成長を確保する。(当初予想比1,489百万円の上積み)</li> <li>設備投資集中に伴う減価償却費の大幅増を、増収と高付加価値化の推進およびコストダウンによりカバーし、前期に引き続き大幅な増益を実現するとともに、営業利益率20%水準を確保する。</li> </ul>
<b>営業利益</b>	4,955	6,211	25.3%	
(売上高営業利益率)	(19.4%)	(21.0%)		
<b>経常利益</b>	4,961	6,213	25.2%	
<b>税引前利益</b>	4,915	6,582	33.9%	
<b>当期純利益</b>	2,769	3,530	27.5%	
<b>1株当たり 当期純利益</b>	242円76銭	264円91銭		<ul style="list-style-type: none"> <li>確定拠出年金への移行益405百万円を中間期に計上。</li> </ul>

## 2-2. 将来への投資（設備投資・減価償却費・研究開発費）

（単位：百万円）



## 2-3. 主要経営指標の推移 (連結)



● 株式公開に伴う公募増資により、2006年5月期はROA、ROEともに低下が見られた。

∞ トピックス

---

TOYO  
Ⓚ 東洋炭素株式会社

# 3-1. 生産能力の増強

## 等方性黒鉛の生産能力増強と差別化推進

- 「半導体・太陽電池をはじめとする既存用途の伸長」「用途領域の拡大」等に伴う等方性黒鉛の世界的な需給逼迫に呼応し、本年度下期よりまず年産10,000t体制を実現、早期に年産11,000tまで引き上げる。
- 今回の増強は「高機能グレード品」を中心とするべく、新しいプロセスや生産性改善を織り込み、更なる差別化の推進とコスト競争力強化を図る。

## 等方性黒鉛の生産能力



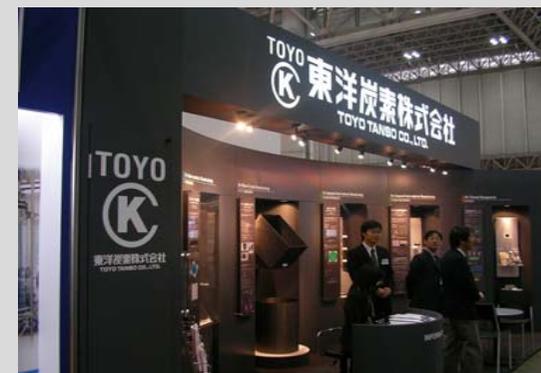
## 3-2. 韓国現地法人設立／セミコンジャパン出展

### 韓国現地法人設立

- グローバル展開推進の一環として、韓国における更なる販売力強化を目的に、従来からの代理店展開に加えて本年8月に販売子会社を設立。現地に密着した顧客対応・サポートに注力し、展開力向上を目指す。

### セミコンジャパン出展

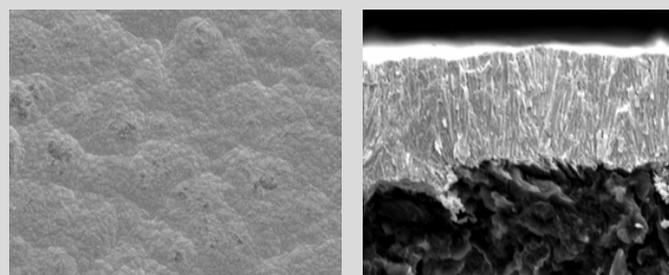
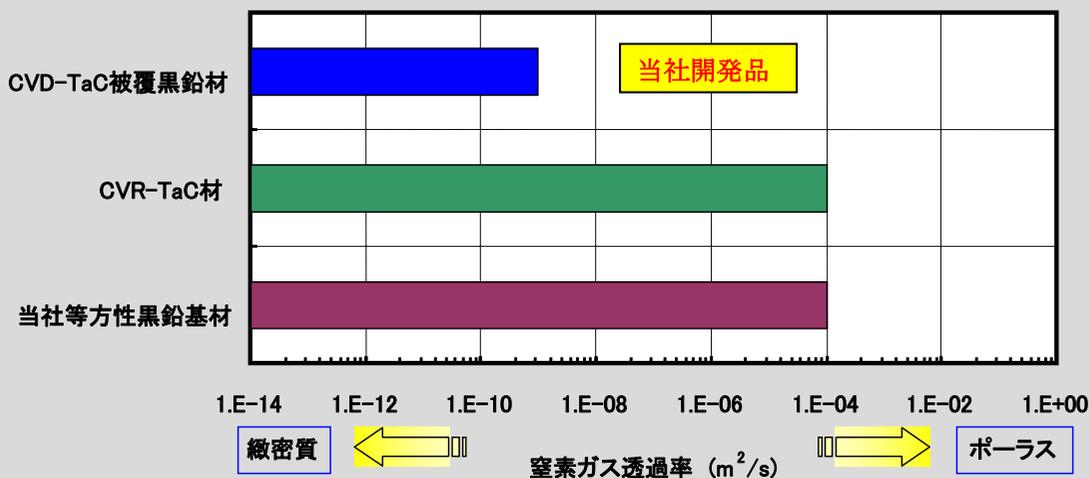
- 半導体関連としては世界最大規模を誇る展示会「SEMICON JAPAN 2006」(2006年12月6日～8日・幕張メッセ)に出展。
- 「半導体」「液晶」「太陽電池」の3つのカテゴリーに向けた製品を展示。
- 新規用途開拓での潜在需要家の掘り起こし、既存製品での新規顧客開拓、装置メーカー研究部門との接触を目的として、当社の製品・技術の独自性をアピール。



# 3-3. TaC(炭化タンタル)被覆黒鉛材を開発

## TaC(炭化タンタル)被覆黒鉛材を開発

- 従来より開発を進めていたCVD法(化学気相蒸着法)によるTaC被覆黒鉛材の開発にこの度成功し、市場展開に向けワーク開始。
- CVR法(転化法)に比べて高温化での安定性に優れるとともに、極めて高いガス不浸透性を実現。特に次世代半導体の最有力候補である単結晶SiC関連用途向けの有力素材として期待大。
- 今後、大型CVD-TaC被覆黒鉛材も含めて、早期の量産化・本格展開に向け注力する。



表面

30 μm

断面



元素記号C、原子番号6。  
私たちの炭素の夢は、  
未来へと無限に広がります。

$$C \times \text{TOYO TANSO} = \infty$$

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL:06-6473-7912(代) FAX:06-6471-0444

E-mail:ir@toyotanso.co.jp